

ペニシリンの分析 Penicillins

ペニシリン系抗生物質は、ブドウ球菌や溶連菌、肺炎球菌などグラム陽性菌に強い殺菌作用があり、さまざまな医薬品に幅広く使われています。その中でもベンジルペニシリン（ペニシリン G）は食品衛生法によって牛や豚、鳥の筋肉や内臓などの残留基準値が設定されています。

今回はペニシリン類 6 種の一斉分析を行ないました。長さ 50mm のショートカラムを用いて移動相には LS/MS に使用が可能なトリフルオロ酢酸（TFA）を用い、酸性条件でグラジエント分析を行ないました。また、ベンジルペニシリンの検出下限は UV 波長が 220nm では 0.1ppm 程度でした。

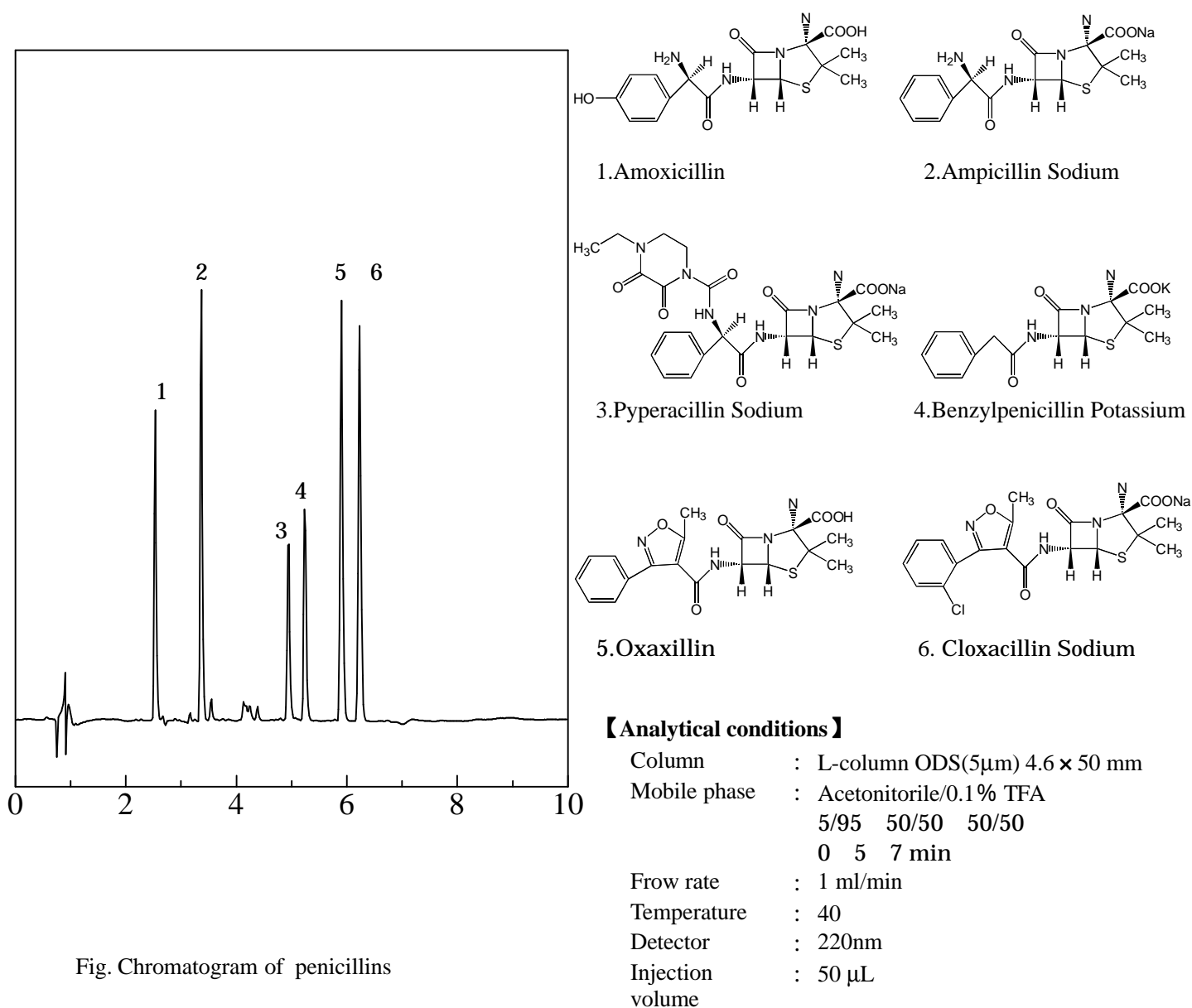


Fig. Chromatogram of penicillins